

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和3年4月15日

事業所名:発達支援ルームこねっく

保護者等数(児童数)34 回収数 29 割合 85.2%

【当事業所における保護者評価の実施方法について】

・NPO法人そらで開設する児童発達支援「発達支援ルームこねっく」および放課後等デイサービス「Libra」に対する保護者評価は、率直なご意見をいただくため、記入していただいた調査用紙を密封して無記名で事業所職員に渡すか、投函していただき、回収できたものを集計しました。

・「はい」が回収数全体の8割を超えた項目は数字を太字にしました。反対に「はい」が**全体の6割を切っている項目は数字を赤字**にしています。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	29	0	0	0	子どもの状況やプログラムに応じて一人一部屋を使うこともでき充分だという意見をいただきました。	こねっくは旧ほうその第二保育所を活用しており、子どもの活動内容に応じて部屋を使い分けることができる恵まれた環境です。引き続き、のびのびと子どもたちに活用してもらいたいと思っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	27	1	0	1	ほぼマンツーマンで子どもについてもらい、子どもの特徴を理解してもらっているという意見をいただきました。また、引継ぎの際に担当職員以外の話も聞きたいというお声をいただきました。	今年度より子どもやグループの状況に応じて、職員のローテーションを行い特定の職員以外からも話を聞いていただけるようにしていますが、子どもやグループの状況に応じて固定の職員が対応させていただいたグループもありました。次年度以降、ローテーションにしない場合にはその理由をさらに丁寧にお伝えするとともに、引継ぎ場面以外でも様々な職員から話を聞いて頂ける機会を設けたいと思います。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	23	3	1	2	建物は古いですが、各部屋には子どもが覚えやすいキャラクターのイラストが示され分かりやすいというお声を頂きました。一方で、構造化はされているがバリアフリー化はされていないのご意見をいただきました。	トイレの入り口に段差があることへのご指摘ではないかと思えます。現在通所している子どもたちにとっては問題ありませんが、子どもたちが安全に利用できるよう、今後必要に応じて改修に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20	6	2	1	少人数に加え、部屋もテーマ別で用意されていて様々な活動ができていたというご意見をいただきました。清潔さに関しては、建物の老朽化と修繕希望、また掃除の行き届いていない部分についてご指摘をいただきました。	現在の施設設備を使い続けることは、項目1の「活動スペースの確保」が十分にできていることの代償と言えます。精華町の所有する施設ではありますが、可能な限りの改修を精華町にも要望するとともに、丁寧な清掃を心がけます。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※2が作成されているか	28	0	0	1	子どものことをよく見て、適切にアドバイスをもらえるとご意見をいただきました。	支援計画は、子どもと保護者の願いや意向を出発点として作成されるものです。今後も対話を大切にしながら作成を続けていきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24	0	0	5	ご意見欄への記入はありませんでした。	「ガイドライン」を読まれたことのない保護者の方がほとんどであろうと思います。国が推奨している児童発達支援の内容には、子ども自身への支援のほか、家族への支援、地域連携が含まれています。 そもそも子どもの発達については、療育機関の中で何をやるか、だけではなく、家族支援や地域支援の視点が欠かせません。バランスのとれた計画を作成していきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	27	1	0	1	ご意見欄への記入はありませんでした。	児童発達支援計画は「プログラム(活動内容)」以上に「プログラムを通じて何を意図しているのか」の説明を大切に参ります。
	8 活動プログラム※3が固定化しないよう工夫されているか	28	0	0	1	毎回様々なプログラムで楽しんで通えたとご意見頂きました。	お子さんの状況に応じて、メールや電話などで事前に活動の詳細をお伝えすることや、登所時に当日のメインとなる取り組みについてお知らせするボードを掲示し確認していただけるようになっています。子どもたちにとっての見通しを大事にしながら、変化に対応する力を身に付けられるようにするためにもプログラムには適宜変更を加えています。こうした変化も親と子が安心するために必要な場合は今後も事前にお伝えしていきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	15	1	2	11	ご意見欄への記入はありませんでした。	こねっくへの通所は全て並行通園(保育所や幼稚園とあわせて通うこと)ですので、日常的に「障害のない」子どもと活動しています。(児童発達支援に通所する子どもの多様さを考えると、この項目自体が不適切に感じました)

区 分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	3	0	1	ご意見欄への記入はありませんでした。	ご意見欄への記入はありませんでしたが、「はい」以外の回答が複数見られたことを受け止め、利用契約時の分かりやすい説明に努めてまいります。
11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	27	0	0	2	ご意見欄への記入はありませんでした。	ご意見欄への記入はありませんでしたが「いいえ」も2件ありました。「児童発達支援」や「療育」の目指すものについて、支援計画の提案時に協調して参ります。
12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※4等)が行われているか	21	2	1	5	ペアレントトレーニングに参加できて良かったというご意見をいただきました。 土日が休所のため、家族支援について父親が関わる機会がないというお声がありました。	精華町役場から事業委託を受けたペアレントトレーニングを法人本部で実施していますが、年間に1グループだけのセッションとなっています。 事業所内では、昨年に引き続き、CAREプログラムの実施を予定しておりましたが、ロールプレイなども多い参加型プログラムであるため、新型コロナウイルス拡大防止の観点から今年度の実施は見送らせていただきました。親支援の取り組みについては、対策を講じつつ次年度以降は実施していきたいと考えています。 療育の実施が平日に限られているためお父様とお会いできる機会は少なくなってしまうかもしれませんが、療育を見学していただくことは可能ですし、送迎や懇談などにもご都合がよろしければぜひおこしください。
13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	28	1	0	0	ご意見欄への記入はありませんでした。	毎回、保護者の方に送迎をしていただくことで、職員から直接にお話しができる時間を得られており、本当に感謝しております。また毎回の両親による送迎が難しい場合でも、電話やメールにて状況を共有させていただくことができ子どもの理解を一層深めることができています。「いいえ」も1件ありました。今後も保護者の方と密に連携をとりながらお子さんの理解につなげていきたいと思っております。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	0	0	1	毎回聞き取りをして相談にのってもらえて心強かったですとご意見いただきました。	定期的な保護者面談や丁寧な引継ぎをこれからも続けていきます。 もちろんいっそう専門性を高め、助言の質も向上させていきます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	5	8	7	保護者同士の交流がほしいとコメントいただきました。 年長児懇談会の実施が良かったというお声もいただいています。	年長児の保護者を対象に「年長児懇談会」を実施し、就学の流れの説明や、学校見学会の実施、通級指導教室や相談支援センターよりゲストを招きお話を聞いたり卒業生の保護者に就学前後に親が気を付けたい事をお話いただく機会を設けており、就学支援の役割も担っています。 卒園児の保護者会としては「こねりん」があり、こねつくの施設を使って、月に一度のペースで開催していますが、在園児の保護者会はなく、送迎時の引継ぎと懇談会、今年度は実施できませんでしたが保護者支援プログラムがやりとりの場になっています。 保護者同士だから共感が深まること、保護者どうしにしかできない支え合いは確実にあります。支援者として驕らず、保護者どうしの関係が深められるような機会を増やしていきたいと思えます。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	26	1	0	2	子どもが気になった故障箇所をすぐに修理してくれたとご意見いただきました。 保護者による送迎の順番や時間について問い合わせたが回答が無かった様に思うとご指摘いただきました。	子どもの発達や生活に関する相談については、日常的にすべてのスタッフが相談に乗らせていただいています。 苦情解決窓口や担当者を配置しているため、多様な申し入れを受ける体制はとられています。すべてが「苦情」として表明されるわけではないでしょうから、日常的なコミュニケーションの中でそのつど寄せられた意見や相談にお答えしていきます。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	1	0	1	ご意見欄への記入はありませんでした。	この項目はやや意味が分かりにくく、児童発達支援ガイドラインでは視覚障害や聴覚障害を想定しているようですが、どんな保護者にとっても子どもにとっても分かりやすいコミュニケーションをとっていきたいと考えています。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15	6	1	7	「カレンダーや通信などのお知らせの配布が遅い」というご意見をいただきました。	ホームページ等での情報発信があまりできておらず、お便りでの発信や写真の掲示になっています。伝達事項は個別にお伝えすることも多いですが、こねっく内での子どもたちの様子などが少しでも多く伝えられるようにしていきたいと思います。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	25	2	0	2	ご意見欄への記入はありませんでした。	個人情報とは全て鍵のかかる棚に保管するなど注意を払っていますが、「いいえ」が2件ありました。今後より一層の個人情報の保護に努めて参ります。
非常時等	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15	3	1	10	ご意見欄への記入はありませんでした。	緊急時対応マニュアルや感染症対策マニュアルの内容について周知ができていませんでした。新型コロナウイルスに関する事も常に状況が変化するため、国や京都府の動向をみながら改定も進めていき、今後は周知を徹底していきます。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
その対応	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	2	1	10	「避難訓練の回数をもっと多くしても良いのでは」とご意見いただきました。	今年度は療育の中で火災や地震についての絵本の読み聞かせや実際の避難訓練を行いました。救出訓練などは実施できておりません。今後は様々な災害の発生を想定して訓練を実施していきます。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	29	0	0	0	「毎週楽しみにしている」「保育所は嫌でもこねっくは好きと言い楽しみにしていた」「普段できないことを沢山できて嬉しそう」「通わせやすかった」といったコメントを複数いただきました。	子どもが楽しみにして通える場でなければ、何も始まりません。この項目が全て「はい」であって良かったです。これからも子どもたちが楽しみの中で成長できる場であり続けられるよう努めていきます。
	23 事業所の支援に満足しているか	28	1	0	0	「振り返りや発達検査の返却、支援計画が手厚く感謝している」「子どもにも分かりやすく伝えてくれる」「きめ細かい」「大変満足」など暖かいお言葉をいただきました。	概ね支援ができていますが、「どちらともいえない」も1件ありました。保護者支援などの充実を図り、より一層の質的向上に努めてまいります。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。